

鏡川流域パートナーシップだより No.246 R7.10.27



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

宗安寺と鏡川のつながりを学ぶ！

10月22日(水)、「関係案内ブック」の記事作成に向け、取材を行いました♪

「関係案内ブック」は、鏡川流域パートナーシップの取組を記録・発信するためのガイドブックです。それぞれの関心事をもとに、鏡川流域の人やスポットを取材したり、記事を作成したりしながら、鏡川流域パートナーシップで生まれた関わりを一緒に形にしていこうという試みです。

今回は、鏡川関係人口講座2期生の上村優子さんの関心事をもとに、**宗安寺の住職さんへの取材**を行いました！

☞「ぼっちり」ユーザーの「sukebay でーす」さんご参加くださり、関係人口4名で、インタビューを行いました！誰かの興味関心をきっかけに、「参加したい！」と声が上がリ、小さなイベントが出来上がっていきます♪

取材に参加できない遠方のユーザー様との関わりも、「ぼっちり」で可視化しました♪



「鏡川のすぐそばにあり、鏡川の四季が楽しめるうらやましい場所ですね」
「宗安寺、私も大好きです！ぜひ、宗安寺の知られざる魅力を教えてください！」



「不動明王、ぜひ訪問したいです！HPの『1日1度は静かに座って身と呼吸を整えましょう』という言葉に心洗われます」
「宗安寺の来歴が分かりました！四国にお不動さんが36か所もあるのに驚きました！また高知の知識が増えた！」



☞住職さんから話を伺いました！書籍やパンフレットを見せていただきながら、「土佐の臨済宗三大禅寺」のひとつと言われる宗安寺の歴史を紐解いていきます。



☞上村さんは、今年の夏、宗安寺の夏季大祭で、**鏡川での灯籠流し**を見てとても感動したことをきっかけに、今回の取材を決意したそう。住職さんから、灯籠流しに関わる人たちの取組などを伺いました。



☞特別に、座禅を体験させていただきました！約7～8分の間、目を閉じて心を落ち着かせます。宗安寺の周りには、美しい木々や山が立ち並び、すぐ近くを**鏡川**が流れています。**鏡川清流保全条例の「自然環境保全区域」**に指定されている自然豊かな場所で、自然の持つエネルギーを感じながら、身も心も清めることができました！



☞大昔、鏡川で大洪水が起こり、鏡川上流域(現在の鏡地域)の不動明王像が、**宗安寺の藤棚に流れ着いた**そうです。信心深い地域の方々がお堂を建てて不動明王像をお祀りしたことから、宗安寺が創建されたとのこと。鏡川がなければ、宗安寺は存在しなかったかもしれません。



☞今回の取材をもとに、上村さんと「(株)ほっとこうち」の今橋さんが「関係案内ブック」の記事を作成します！完成が楽しみです！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone



Android